

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.35	重度化や終末期に向けた話し合いが不十分 まだどうしたらいいのかわからないというご家族がいらっしゃる為、終末期に向けてご本人、ご家族に対して継続した支援が必要がある。	入居者様のご家族全員が、重度化について考えて頂く。 ご家族、ご本人が、意思決定できるように支援する	ご本人の何気ない会話の中から終末期に対する意向を聞き、それをご家族に話した上で、ケアの方向性を決定できるようにする。 日々、病院や他施設の情報をつかんでおく。 みどりのきで終末期ケアが対応できるよう学んでおく。	12か月
2	No.37	災害時、地域の方々との連絡体制がとれていない。	地域との災害時の協力体制を作る。	町内会長、民生委員、自治会長、市民センター等に問い合わせ、非常災害時の連絡体制を構築し、地域との相互連携・協力体制を作る。	12か月
3	No.8	職員の権利擁護に関する知識が不十分	職員に対し、成年後見制度、権利擁護の勉強会を行っていく。 地域の方、ご家族に成年後見制度を知ってもらう。	成年後見センター職員に働きかけ、地域の方、ご家族の集まる運営推進会議の場で成年後見制度について説明して頂き、その内容を基に、月1回のフロアミーティングで勉強会を行い、職員に制度を理解してもらう	12か月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。